

平成28年度第2回 熊本市中央区まちづくり懇話会 議事録（要旨）

【日時】：平成28年11月8日（火） 14：00～15：20

【場所】：熊本市役所議会棟2階 議運・理事会室

【出席委員】：15名出席

古賀会長、杉光副会長、芥川委員、阿久根委員、今坂委員、岩崎委員、佐竹委員、高千穂委員、田口委員、田原委員、鳥崎委員、兵平委員、南委員、森委員、安永委員

【議事要旨】

- 1 開会
- 2 中央区長挨拶
- 3 職員紹介
- 4 議事

（1）平成28年度中央区まちづくり事業の進捗状況等について

（古賀会長）

平成28年度中央区まちづくり事業等について、事務局より説明をお願いする。

（事務局）

資料1に基づき説明

（古賀会長）

ただいま事務局から、平成28年度まちづくり事業の進捗状況と平成29年度まちづくり事業の見通しについて、来年度は「まちづくりセンター」が設置される予定であることなどを含めて説明があったが、ご意見等は。

（阿久根委員）

お宝探検事業について質問する。地元の帯山西校区には史跡等の「お宝」がないが、そういう校区の場合はどのような形でのお宝探検となるのか。平成27年度に実施された校区では、具体的にはどのような事をしたのか。

（事務局）

向山校区では「一新まちづくりの会」と連携して向山校区のまち歩きが開催されており、内容としては、まち歩きコースと銘打って小学校から泰平橋、細工町とか地元の公民館、からしレンコンのお店とか吉田松花堂など、地域の特色のある所をピックアップして散策をされた。主催者としては、向山校区自治協議会と、ふれあいウォーキングクラブがボランティアとして参加された。

碩台校区では歴史探索というテーマで吉田司家など名所旧跡の地図を作成されており、その地図を活用してのまち歩きというところで、コースとしては藤崎宮、碩台小、子飼商店街とか浄行寺などを散策された。

出水南校区でも同様に、出水南校区で作成した名所等をピックアップした地図を利用してまち歩きを実施されたが、その際、熊本城ボランティアガイドの方が参加されており、出水南校区の方と協議されて、熊本城でその取組みが紹介されたという後日談もあった。概して、子どもたちや高齢者の方と地域の名所旧跡を歩くということが多いようである。

（阿久根委員）

熊本城で、まち歩きをされたということか。

（事務局）

出水南校区でまち歩きをされた後に、後日談として熊本城ボランティアガイドの方が、その地図を再利用されたということです。

(岩崎委員)

まちづくり支援強化ということで、まちづくりセンターに地域担当職員を配置するとの説明であったが、正職員が配置されるのか。また、現在、各区役所にまちづくり推進課があるが、センターとの業務の分担はどのような形になるのか。

(事務局)

地域担当職員は正職員であるが、一部は再任用職員が配置される可能性もある。基本的には、1人の担当職員が2つの校区を担当することを予定している。現在、公民館にまちづくり交流室があり、公民館事業とまちづくり事業を担当しているが、どちらかといえば公民館業務で多忙のため、地域に出向いて地域の方と語り合うことが出来ていない状況がある。そういう中で、地域担当職員を配置し、地域の課題とか問題を地域の方と一緒に考え解決していく、また地域の行事とかイベントにも積極的に関わっていくという役割を担うことを予定している。

(岩崎委員)

熊本市現代美術館にも「子育て広場」があり、再任用職員を配置しているが、同じ場所に同じ人がいて相談しやすいということで、子育て中のお母さんたちが相談等している。

まちづくりセンターについても、地域担当職員が地域の方と語り合い、それが中央区の方に伝わって地域の課題が解消されるという仕組みが出来ればと期待している。

(事務局)

いま再任用の話が出たが、長年、市役所で働いてきた経験を活かすということで、再任用職員を配置するというのも一つの考えであるが、現場にフットワーク軽く出て行くという面で、そこをどう組み合わせるかということだと思う。

また、まちづくり推進課との関係のご質問があったが、本来は地域に出て行くという趣旨でまちづくり交流室が設置されたが、公民館事業も一緒に行っているということで思い通りにいかなかったという反省を踏まえ、そしてまちづくり推進課もあるということで、併せて区役所のまちづくり担当部署を整理し、まちづくり支援を強化しようということである。「地域主義」が基本理念なので、それを具現化する組織になると思われる。

(南委員)

地域コミュニティづくり補助金につき、平成29年度は防災活動への支援等を充実させるため支援を拡大する方針とのことであるが、どのような要件が必要となるのか、無条件で補助対象とするのか、何らかの基準を考えていけば示していただきたい。

(事務局)

平成29年度は地域での防災強化の活動が活発になると想定されることから、たとえば災害発生時に地域スタッフを識別できるようするための防災ベストを購入するとか、防災倉庫を拡充する、あるいは防災活動を実施するための経費などを想定している。ただ基本的には、支援枠は拡大する方針であるが、これまで同様に審査会で審議していただいて判断するということになる。

(古賀会長)

熊本県は、自主防災組織の組織率が全国最低ということが続いている中で今回の地震があり、課題となった。補助金というのは、税金を財源としているので、市民のためにどう使うかということ的前提に取り組んでいただきたい。

限られた予算の中でメリハリをつけて人と経費を投入していくという、現時点での考え方が事務局から示され、今後具体的に詰めていくことになると思うが、まちづくりセンターとの連携の件で、実は私は6年間ほど、熊本市の公民館運営審議会の会長を務めていた。その間に、このまちづくり交流室という機構改革があり、確かに生涯学習を進める部署とまちづくり事業を進める部署では、課題とか、それを担う人達も違うということを感じていたところだ。そういった意

味では、今回の熊本地震を踏まえ、防災教育をどう進めるか、防災組織の形成をどう進めるか、そのようなことが今回の組織再編の中で整理されていけば、まちづくり事業も良い方向に進んでいくのではないかと。

(2) 平成29年度中央区まちづくり事業アイデア提案について

(古賀会長)

平成29年度の中央区まちづくり事業アイデア提案について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(資料2に基づき説明)

(古賀会長)

ただいま事務局から、平成29年度中央区まちづくり事業アイデア提案について説明があったが、まず進め方について、ご相談させていただく。

アイデア提案については、作業部会を設置して検討するという方法もあり、過去にはそのような方法を取ったこともあるが、今回は2件の提案であり、懇話会の開催時期が遅くなっており時間的な制約もあるので、本日の会議で採択する、しないを決定するというところでよろしいか。

(各委員の了承)

それでは、事務局の説明に対して、ご質問等があればお願いしたい。

(南委員)

このような時節なので予算的な面が心配になるが、どの程度の経費を見込まれているのか。

(事務局)

「健康フェスタ」は150万円、スポーツ交流事業は30万円を予定している。

(岩崎委員)

総合体育館が使えなかった場合が課題としてあげられているが、実際に体育館の改修が長引いた場合の対応は、たとえば県立体育館等を使用すること等を想定して、予算を編成しているのか。

(事務局)

熊本市総合体育館については、アリーナの改修が来年の秋には終了すると聞いており、体育協会にもその旨を伝えているので、秋以降に実施を計画されると思われる。改修が遅れる場合には、代替地を探して開催することとなるので、その経費も考慮している。

(古賀会長)

競技がミニバレーということなので、本格的なバレーほど広い場所は必要とはならないでしょうが、今回の提案は2件とも、被災者を含めた区民の元気を出すための提案ということなので、せっかくなら市体育館を使用できれば参加者も増えると思われる。他には何か。

(今坂委員)

ミニバレーの提案については、各校区のミニバレーの好きな人が集まって交流するという事なので、これはこれで意義あることだと思う。

ただ、区民の一部ということになるので、区民全体に展開することを考えると、体育協会は各校区で体育祭の開催を行うなど大会開催のノウハウを持っている。出来れば、19校区全部を出場するのは無理としてもエントリー制として、また競技も19校区全部が行うと長時間になるので、各校区いくつかにして点数制にして優勝を決めるとか、いろんなやり方があると思う。せっかく各校区に体育協会があり、大会を実施する能力があるのだから、ミニバレーに限定せず、区全体に広げて最初は室内競技だけでもよいし、大人から子ども、高齢者まで参加できるような大会が出来れば、交流という点では非常に価値の高いものになると考えられる。1つのスポーツも大事だが、将来的に、みんなで交流したいと思う時には、そういう形でやってもらえれば、各校区の体育協会のノウ

ハウを活かせるし、そういうやり方を検討していただきたい。

(事務局)

ただいま今坂委員からいただいた貴重なご意見については体育協会にお伝えして、ミニバレーに限らず、子どもから大人まで参加できるイベントの開催も検討されるよう、お伝えしたい。

(佐竹委員)

今、ミニバレーに限定しないという意見が出たが、参加者を増やしたいということなら2019年までを見据えて、ハンドボール、ラグビーという世界大会が熊本であるのだし、ラグビーは身体接触があつて難しい面もあるでしょうから、ハンドボールを考えてみると、その流れにも沿って盛り上げていくことが出来るのではないかと思います。

(古賀会長)

ハンドボールは格闘技ですので、高齢者の方には少し厳しいかもしれませんね。

今回、中央区の体育協会から初めて手が挙がりましたが、平成29年度だけにとどまらず、持続可能で健康づくりにも寄与できる事業が出来ればと考える。

熊本の子どもについてよく指摘されているのが、学力は伸びてきているが、体力・運動能力は全国平均よりかなり低いということで、特に投げる力が低いということが課題となっている。そういう意味では、大人だけでなく子どもたちを含めた事業ができればいい。

中央区体育協会に、どの程度実施する体力やノウハウがあるかという点はあるが、そういう事も相談しながら、懇話会でも育てるとすると語弊があるが、見守っていければと思う。

(安永委員)

2つの事業とも「健康」というキーワードで繋がっていると思うが、2つの事業を関連付けて実施する予定などはあるか。

一緒に実施することが出来れば、より賑わいが出るのではないかと考える。

(事務局)

今回、1つの提案は中央区体育協会のものだが、今年設立されて、せっかく設立したのだから何かやりたいということで、最初だからミニバレーなら自分たちで出来るのではないかいということで提案がなされた。

また、社会教育振興事業団は熊本市体育館等の指定管理者ということで、体育館の管理をしながらスポーツ指導等をしているところであるが、そういうノウハウを活かしての中央区民の健康づくり事業が提案されたもので、現時点では、両者が連携しているという状況にはない。

ただ、開催時期が同じであるとか、社会教育振興事業団の提案は長期スパンのものなので、その中で連携できる部分があれば、両者に提案しながら相乗効果が期待できるものは一体的な実施も検討していきたい。

(阿久根委員)

どちらも盛り上がりそうだと感じた。特に体育協会のミニバレー大会は、小中学校対抗の大会が毎年あり、今年は熊本地震の関係で実施されていないが、自分の校区でもミニバレー大会のノウハウがある。学校の対抗だと、子どもが卒業すると終わりだが、校区対抗ならば勝ちたいと盛り上がると思われる。

(古賀会長)

他には、よろしいでしょうか。それでは、ただいま提案があつた「からだいきいき健康フェスタ事業」と「中央区スポーツ交流事業」については、本懇話会は採択するということで決定させていただいてよろしいか。

(各委員の了承)

なお、まちづくり事業については、例年、この時期に懇話会の協議結果を区長に報告している。

お手元に報告書案を配布しているので、ご覧下さい。

報告書は、どのアイデア提案を採択するということを中央区長様に伝える形で、協議結果の文案については私の方の責任をもって一任させていただき、このような形で出しましたという事を、2月か3月の懇話会で事後報告させていただいているところだ。

ただ、1と2は例年どおり私が責任を持って対応させていただくが、熊本地震の発災があり、本年は事業の縮小や停止があったので、今回は懇話会の総意として、3にその他として要望の文面を提案させていただければと思う。

「本年度は、熊本地震の発災により、事業の一部停止等がなされたところであるが、まちづくり事業の推進は地域の魅力向上等に資するとともに、中央区の震災復興に寄与するものであるため、中央区としてまちづくり事業の実施につき、今後とも積極的に取り組まれるよう要望する。」という文言を入れまして、平成29年度のまちづくり提案だけでなく、総合的なまちづくり事業の基本的な考え方を踏まえて今後取り組んでいただきたいということを、本懇話会の総意としてお願いしたいと考えているが、いかがだろうか。

(各委員の了承)

それでは、少し文言は変わるかもしれないが、要望につきましては、これを原案として中央区長に報告させていただく。

(3) その他

(古賀会長)

その他だが、10月30日に第3回水まち水前寺にぎわい祭りが開催されたので、杉光委員にご報告をお願いしたい。

(杉光副会長)

(熊本地震の発災によって祭りを開催すべきか議論されたが、このような時期だからこそ開催して地域と一体となった自助・共助を含めた地域づくりの一助となつて、復興の力になりたいということで開催に至ったという経緯、2会場での開催にもかかわらず前年を上回る出演者数があったこと、1日だけの開催にも関わらず約8,000名の来場者があり、地域の祭りとして形が整ってきたこと等を説明。また、ITジャーナリスト三上氏の講演とネット配信のスタッフが来たこと、ナイアンテックが地元の祭りに復興支援という形で協力するという事で、ポケモンGOが一部自主規制しつつ開催されたこと、来年度に中央区の補助金減額があったとしても地域のために開催することが決定されたこと等につき説明)

(佐竹委員)

今回は会場が2箇所で離れており、直接見通せないということで、これをどう繋ぐかということ点で、このポケストップのマップが大きな役割を果たしていたと考える。

ただ、1つわからなかったのが、玄宅寺さんが記載されていなかったということで、あえて記載しなかったのかその所をお聞きしたい。

(杉光副会長)

あえてと言われると苦しい所があるが、2箇所の会場を歩いていくと想定してのポケストップの位置という考え方での地図の作成で、水前寺駅に駐輪場がありますので、そこから移動するだろうとの想定で水前寺成趣園までのルートを作成したところであり、玄宅寺の方ではルートを作成していなかったというのが実情である。

(佐竹委員)

最短距離ということですね。

(杉光副会長)

最短距離といえば、そうですね。

(古賀会長)

その他、委員からご意見、または発言したいことはあるか。

それでは、以上をもって本日の議事を終了させていただく。

次回の開催は２月２３日（木）午後を予定。